

基本目標ごとの主な取組、成果および課題について

令和7年3月

1. 「安全」:安全で良質な水を安定して供給します。

【主な取組】

- 水道水源への対応
- 水質管理の強化
- 安全で安定した水の供給

【成果】

- 水源調査および水質検査の実施
- 「琵琶湖森林づくりパートナー協定」事業の実施
- PFAS に関する情報収集の実施
- 水質の情報等を県の関係部局や関係市町と情報共有
- 水道 GLP 認定の更新
- 水道 GLP に基づく、大津市水道局と「災害時における水道水質検査業務に関する協定」の締結
- 消毒副生成物の抑制と粉末活性炭の注入量削減との両立
- 異臭味対策として高性能粉末活性炭への変更による対応
- 浄水処理過程での適正な薬品の注入
- 管路パトロール等による施設・管路の適切な点検

【課題】

- 異臭味発生時の効果的かつ効率的な情報発信
- 継続的な水源調査および水質管理の実施
- 新たな水質基準(PFAS)に対応および検査体制の強化

2. 「強靱」:信頼を支える強靱なライフラインを構築します。

【主な取組】

- 施設の計画的な更新
- 水道施設の耐震化
- 施設の浸水対策
- バックアップ対策の充実
- 危機管理体制の強化

【成果】

- 耐震機能を備えた吉川浄水場の新設、用水ポンプ場および管路耐震化の継続的な整備

- 水道施設の浸水対策の実施
- アセットマネジメント計画に基づいた管路・設備の更新
- 事業継続計画の改定
- 各種防災訓練の実施、応急復旧資機材の備蓄

【課題】

- 物価高騰に伴う事業費の増大に対する更新時期・優先度の見直しおよび水運用の最適化を考慮したアセットマネジメント計画の再構築
- 浄水施設の耐震化の遅れ
- 非常用発電設備の未整備施設への整備や老朽化した同設備の更新

3. 「持続」: 社会の変化に対応した持続可能な経営を推進します。

【主な取組】

- 健全経営の維持
- 経営の効率化の推進
- 地域経済の活性化への貢献
- 広域連携
- 人材育成と技術継承
- 環境に配慮した取り組み
- 地域、社会の理解促進

【成果】

- 黒字経営の維持(経常収支比率 100%以上)
- 内部留保資金の確保
- 工水料金の改定(令和5年度)
- 受水企業の優遇制度(引込管工事支援)の対象および金額の拡充(令和4年度)
- ゆるやかな広域連携の推進(共同研修)
- PPA 方式による太陽光発電設備導入
- コロナ後の浄水場見学の受入れ

【課題】

- 物価高騰等による工事費や維持管理費の増加
- AI や ICT の活用による業務の効率化等
- 県の「水道広域化推進プラン」に基づく広域連携の検討
- 民間活力の導入検討
- 継続的な技術の継承、人材育成と確保
- 省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用促進